

技術評価項目の履行に関する特記事項

第1項. 基本的事項

技術評価項目において提案された性能・機能等については、要求水準書第Ⅰ編の表 1-5-1 性能要件及び運営管理業務委託契約書の別紙 4 に規定する技術評価項目に係る性能要件として定義し、履行状況及び達成状況についての検査を行うものとする。技術評価項目に係る性能要件は、本件工事の設計施工方法の他、本件工事の工事目的物であるところの本件施設が有すべき機能・性能及び本件業務の成果であるところの業務履行内容と業務水準等によるものであり、当該性能要件は設計施工事業者若しくは運営管理事業者のいずれか又は双方の協同によって履行が担保されなければならない。

以上を踏まえ、設計施工事業者及び運営管理事業者は次の各号に従い、技術評価項目に係る性能要件を誠実に履行しなければならない。

- (1) 表 1 は、技術評価項目に係る性能要件に関する履行状況、達成状況の確認・検査を行う時期の一覧表である。ただし、技術提案内容によっては、表 1 に基づく履行状況の確認時期では適切な検査が困難であると考えられる場合は、岡山市、設計施工事業者、運営管理事業者の協議により確認時期を変更することがある。
- (2) 設計施工事業者は、当該性能要件のうち、本件工事における設計の施行方法、工事の施工方法及び本件工事の成果であるところの本件施設が有すべき機能・性能について確実に履行又は達成しなければならない、岡山市に対してその履行状況及び達成状況を自ら証明又は説明しなければならない。
- (3) 運営管理事業者は、当該性能要件のうち、本件業務の成果であるところの業務履行内容と業務水準について確実に履行又は達成しなければならない、岡山市に対してその履行状況及び達成状況を自ら証明又は説明しなければならない。
- (4) 設計施工事業者と運営管理事業者は、当該性能要件の履行又は達成が本件工事と本件業務の成果が不可分一体の関係にあることを十分に認識した上で、当該性能要件の履行又は達成にあたり双方が密に協力するものとし、岡山市に対して双方が協同して履行責任を果たさなければならない。
- (5) 当該性能要件が履行又は達成されていない場合で設計施工事業者若しくは運営管理事業者又はその双方に責任がある場合は、当事者の責任と費用負担において、必要な本件施設の補修、改良、追加工事、業務の改善等を行い、当該性能要件を達成させなければならない。
- (6) 前号に関し、本件施設の補修、改良、追加工事又は業務の改善による対応や改善が困難あるいは合理的ではない場合で岡山市が特に認める場合、技術評価項目不履行の違約金を岡山市へ支払わなければならない。
- (7) 設計施工事業者と運営管理事業者は、第 4 号から前号までの定めを履行するための双方の役割と責任を定めた協定書を自ら作成、締結するものとし、岡山市が求める場合は岡山市へ当該協定書の写しを提出しなければならない。

表 1 技術評価項目と技術評価項目に係る性能要件の履行状況、達成状況の確認時期一覧表

評価大項目/評価項目	確認時期		
	本件工事		本件業務
	施設引渡し前	性能確認試験	実運営期間中
安全・安心で安定的な処理が確保され、経済性にも優れた施設			
配置動線計画	○	－	○
施工計画	○	－	－
安全で安定なごみ処理に配慮した設計と施設運営	○	○	○
運転管理体制	－	－	○
長期安定稼働と長寿命化への対応	○	－	○
資源循環機能	－	－	○
公害防止強化に向けた独自の取り組み	○	○	○
焼却による熱エネルギーを最大限活用し、地域や市民に貢献できる施設			
焼却廃熱の有効利用	○	○	○
災害に強い施設	○	－	○
周辺の住環境にも配慮し、環境教育にも貢献できる施設			
施設の周辺環境保全に配慮した設計、施工及び運営管理	○	○	○
外観・景観計画	○	－	－
環境学習・環境啓発機能	○	－	○
事業実施方針に係る評価			
事業実施体制	○	○	○
リスクマネジメントとモニタリング計画	○	－	○
地域経済への貢献	建設工事関係	○	－
	運営管理業務関係	－	○
地域との共生	○	－	○

第2項. 施設引渡し前において履行状況等を確認する項目

設計施工事業者は、本件事業に係る総合評価一般競争入札の手続において提案した技術評価項目と提案内容のうち、表1で施設引渡し前に履行状況等を確認するとした技術評価項目に係る性能要件について実施設計図書又は施工計画書に明示し、実施設計図書又は施工計画書に従い適正に施工しなければならない。

別に定める項目を除き、本項に掲げる技術評価項目に係る性能要件の履行状況、達成状況の確認・検査方法については次の各号による。

- (1) 設計施工事業者は、技術提案書における提案内容の履行計画と遵守状況について岡山市に対して合理的に証明し報告する義務を有するものとし、実施設計図書又は施工計画書への技術提案図書の反映内容と当該性能要件の履行を説明する資料を作成し、岡山市へ提出し承諾を受けなければならない。
- (2) 第1号の岡山市の承諾手続きにおいて不具合等が認められた場合は、設計施工事業者は直ちに実施設計図書又は施工計画書を変更し、岡山市の承諾を受けなければならない。
- (3) 岡山市は施工報告書、施工出来形及び試運転結果について検査し、実施設計図書又は施工計画書に従って施工されていることを確認した場合は、本項に掲げる当該性能要件について、履行状況、達成状況の検査結果を合格とする。
- (4) 前号の岡山市による検査結果が不合格とされた場合は、設計施工事業者は自らの責任と費用負担において必要な施工方法の改善又は本件施設の補修、改良、追加工事等を行い、技術評価項目に係る性能要件を達成させなければならない。
- (5) 第1号から第4号までの承諾、検査の合格については、要求水準書第Ⅰ編に基づく設計施工事業者の責任をなんら軽減又は免除させるものではない。

第3項. 性能確認試験において履行状況等を確認する項目

設計施工事業者は、本件事業に係る総合評価一般競争入札の手続において提案した技術評価項目と提案内容のうち、表1で性能確認試験において履行状況等を確認するとした技術評価項目に係る性能要件について、提案したシステム、機能、性能、基準値が提案内容に従った機能を適切に発揮していることを性能確認試験で確認する。

別に定める項目を除き、本項に掲げる技術評価項目に係る性能要件の履行状況、達成状況の確認・検査方法については次の各号による。

- (1) 性能確認試験において、提案したシステム、機能、性能、基準値が長期にわたり技術提案内容に応じて適切に発揮又は達成していることを確認し、もって当該性能要件の検査結果を合格とする。
- (2) 設計施工事業者は、技術提案書における提案内容の履行計画と遵守状況について岡山市に対して合理的に証明し報告する義務を有するものとし、性能確認試験計画書において当該性能要件の確認方法、合否判定方法等を明示し、岡山市へ提出し承諾を受けなければならない。
- (3) 前号の岡山市の承諾手続きにおいて不具合等が認められた場合は、設計施工事業者は直ちに性能確認試験計画書を変更し、岡山市の承諾を受けなければならない。
- (4) 設計施工事業者は、当該性能要件の履行状況を性能確認試験成績書に明示し、岡山市の

確認を受けるものとする。

- (5) 前号の履行状況の確認においては、技術提案内容に応じて提案したシステム、機能の運用状況や要改善点について設計施工事業者は岡山市職員及び運営管理事業者の意見を聴くものとし、必要に応じて本件施設の補修、改良、追加工事等を行い、改善結果を性能確認試験成績書に反映するものとする。
- (6) 岡山市は性能確認試験結果について検査し、性能確認試験計画書に定めた合否判定方法に従って合格していることを確認した場合は、本項に掲げる当該性能要件について、履行状況、達成状況の検査結果を合格とする。
- (7) 前号の岡山市による検査結果が不合格とされた場合は、設計施工事業者は自らの責任と費用負担において必要な本件施設の補修、改良、追加工事等を行い、当該性能要件を達成させなければならない。
- (8) 第1号から第7号までの承諾、検査の合格については、要求水準書第Ⅰ編に基づく設計施工事業者の責任をなんら軽減又は免除させるものではない。

第4項. 実運営期間中に履行状況等を確認する項目

運営管理事業者は、本件事業に係る総合評価一般競争入札の手続において提案した技術評価項目と提案内容のうち、表1で実運営期間中に履行状況等を確認するとした技術評価項目に係る性能要件について業務計画書（運営管理業務要求水準書に定める業務計画書をいう。以下同様。）に明示し、業務計画書に従い適正に履行しなければならない。

別に定める項目を除き、本項に掲げる技術評価項目に係る性能要件の履行状況、達成状況の確認・検査方法については次の各号による。

- (1) 運営管理事業者は、技術提案書における提案内容の履行計画と遵守状況について岡山市に対して合理的に証明し報告する義務を有するものとし、業務計画書への技術提案図書の反映内容と当該性能要件の履行を説明する資料を作成し、岡山市へ提出し承諾を受けなければならない。
- (2) 前号の岡山市の承諾手続きにおいて不具合等が認められた場合は、運営管理事業者は直ちに業務計画書を変更し、岡山市の承諾を受けなければならない。
- (3) 運営管理事業者は、当該性能要件の履行状況を業務報告書（要求水準書に定める月報、年報の業務報告書をいう。以下同様。）に明示し、岡山市の確認を受けるものとする。
- (4) 岡山市は前号について検査し、業務計画書に従って業務が履行されていることを確認した場合は、運営管理業務要求水準書に従い、委託料を運営管理事業者へ支払うものとする。
- (5) 前号の岡山市による検査結果が不合格とされた場合は、運営管理事業者は自らの責任と費用負担において必要な改善等を行い、当該性能要件を達成させなければならない。
- (6) 第4号の岡山市による検査結果が不合格とされた場合は、岡山市は前号の改善等の結果が業務計画書に従って業務が履行されていることを確認できるまでの間の委託料の支払いを停止することができる。
- (7) 前号に関し、当該不履行が本件業務を当面の間において適切に実施する上で障害となるものではないと岡山市が判断する場合であって、運営管理事業者が改善計画について岡

岡山市へ説明し、岡山市が一定期間後に当該性能要件が達成可能になると判断した場合は、前号に定める委託料の支払い停止については適用しないことができる。

- (8) 第1号から第7号の承諾、検査の合格については、要求水準書第Ⅱ編に基づく運営管理事業者の責任をなんら軽減又は免除させるものではない。

第5項. 評価項目「地域経済への貢献」

本件事業に係る総合評価一般競争入札の手續において提案した評価項目「地域経済への貢献」のうち地元経済貢献額（建設工事関係）の達成状況の確認方法は、以下のとおりとする。なお、実運営期間中における地元経済貢献額（運営管理業務関係）の履行状況、達成状況の確認方法は、運営管理業務委託契約書の定めによるものとし、詳細については本件業務において運営管理事業者が作成する地元経済貢献活動実施計画書（運営管理業務関係）によるものとする。

評価項目「地域経済への貢献」に係る提案内容の履行状況、達成状況の確認・検査方法については次の各号による。

- (1) 設計施工事業者は、地元経済貢献額の履行計画と遵守状況について岡山市に対して合理的に証明し報告する義務を有するものとし、本件工事に係る当該評価項目の技術提案内容を遵守し適切に履行するための地元経済貢献活動実施計画書を作成し、岡山市の承諾を受けなければならない。
- (2) 前号の岡山市の承諾手続きにおいて不具合等が認められた場合は、設計施工事業者は直ちに地元経済貢献活動実施計画書を変更し、岡山市の承諾を受けなければならない。
- (3) 設計施工事業者は、第1号の地元経済貢献活動実施計画及び地元経済貢献額の遵守状況について逐次岡山市へ報告するものとする。また、かかる報告の方法と頻度、報告の対象期間については、岡山市との協議により定めるものとする。
- (4) 岡山市は、本件工事の着手から施設引渡しまでの間、前号の対象期間毎に報告内容を確認するものとし、対象期間毎の地元経済貢献額の達成確認をもって、当該対象期間における当該提案内容について、履行状況、達成状況の検査結果を合格とする。
- (5) 前号の岡山市による検査結果が不合格とされた場合は、設計施工事業者は直ちに改善計画を作成し、岡山市の承諾を受けなければならない。この場合、設計施工事業者は、承諾された改善計画に基づき自らの責任と費用負担において必要な改善等を行い、本件工事の施設引渡し前までに地元経済貢献額（本件工事分の全額）を達成しなければならない。
- (6) 前号に関し、本件工事の施設引渡しまでの間において、地元経済貢献額の未達が認められた場合、設計施工事業者は未達分に相当する金額を違約金として岡山市が指示する方法により岡山市に対して支払わなければならない。ただし、設計施工事業者が求めかつ運営管理事業者が承諾した場合は、岡山市は当該予定金額の未達分に相当する金額を運営管理業務委託契約書に定める地元経済貢献額に加算できるものとし、設計施工事業者及び運営管理事業者は、当該措置に関する岡山市の指示に従わなければならない。
- (7) 第1号から第6号までの承諾、検査の合格については、建設工事発注仕様書に基づく設計施工事業者の責任をなんら軽減又は免除させるものではない。

以 上